

会 議 録【公開用】

会議の名称	令和6年度第7回 岩舟地域会議
開催日時	令和7年1月22日19時00分 開会 20時41分 閉会
開催場所	岩舟総合支所会議室棟 第1会議室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
その他必要事項	-
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ</p> <p style="padding-left: 2em;">・高久会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 栃木市文化財保存活用地域計画について (情報提供)</p> <p>〈文化課から説明〉</p> <p>委員に意見を求める。</p> <p>10年というとても長い計画になっている。例えばお祭りとか、地元の人しか知りえないようなものに対して、聞き取り調査はどのタイミングで行う予定でいるか。</p>
文化課	<p>まず、過去の文化財の調査報告書を網羅して、各地域でどんなものを行っているのか調査している。それ以外は、個別に地域で歴史文化に詳しい方に聞き取りさせていただく。タイミングに関しては、具体的にはいつからとはないが、必要に応じてしていきたい。</p>
会長	<p>そういうのを知ってる方は高齢化も進んでいると思う。それに対応していかないと聞き漏れてしまう。情報として誰にも聞けなるという恐れがある。それが10年という計画の中で一番心配。</p>
A委員	<p>この文化財保存活用地域計画はどの範囲のものを考えているのか。この計画において一番大切なのは学芸員の位置。現在栃木市において学芸員が少ないと思う。この計画を作成するにあたって担当する人数がどれぐらい確保できるかが一番問題になると思う。それと、この計画を学ぶにあたってどういう項目を並べるのか、これだと全然分からない。文化財を観光に役立てる計画はあるだろうが、西方から藤岡</p>

文化課	<p>まで網羅した段階で、どういう風にまとめていくのか、それと、行政境で区分してはいけないと思う。そういったものをどう処理していくのか心配な点があるが、どうお考えか。</p> <p>今のお話は栃木市が抱えてる課題に当たると思う。この計画自体は、まずどんな課題があるかを整理して、この計画の中で最終的に一覧表にするという作業がある。文化財の保存活用に対して、課題がたくさんあり、それを解決するためにどのような取組をしていけばよいか必要に応じて意見を伺い大きな表にしていく。この計画で課題を洗い出して、それに対してどうしていったらよいか、取組みをどこが担当するのかということをもとに提示するという大きな目的の計画。それで学芸員が不足しているとか、各地域をまとめていくとか、そういうものが不足しているということは、充実さなければならない。それを取組みとしてこの計画の中に盛り込む。そうすると法定計画であるので、これは実施するものであるということによっていく。そういうことで今年度から取組みを始めたので、今日言っていたことは課題として盛り込むことになると思う。素案ができた時にご覧いただき、足りない部分など、ご意見は都度都度頂戴できれば大変ありがたく思う。</p>
B委員 文化課	<p>岩舟の文化財に該当するものは、どういう形で拾い上げていくのか。</p> <p>まず、法律や条例で定められている保護すべき対象が各地域にある。指定文化財と言うが、それは、この計画の中で保存される対象として必ず入れる。それ以外に過去に国・県・市で文化財に関する調査報告書が出ているので、そういうものはすべて確認している。そこに取り上げられたものは法律で保護されていないものもあるので、そういったものをすべて対象として取り上げる。それ以外でも、まだ地域にとって大切であるもの、例えば伝承や、特別な景観などあると思うので、その辺は、まちづくりの関係団体とか、市民ワークショップ等からご意見をいただいて対象を決めている。まだ、全部決まってるわけではないが、どんどん追加して足りないと思う部分は、この事業の中でさらにこの部分に関しては調査した方がいいであろうことは事業として盛り込んで進めていくという形で考えてやっている。</p>
B委員	<p>例えば、旧家の蔵の中で眠っているものとか結構あると思う。その辺をよく拾い上げていただければと思う。</p>
会長 C委員	<p>(2) 地域自治制度の新制度移行について (情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実働組織 自己紹介 <p>〈地域政策課から説明〉</p> <p>委員に意見を求める。</p> <p>意識調査報告で、若い人を入れるとか、若い人の意見を入れてほしいとかかなり多いが、その関係で、時期の委員更新までに若年層委員の確保に向けて SNS 等の積極的活用や推薦団体の見直しをするとあるが、具体的にどうやって若い人を取り入れるのか今検討されていることがあるか。</p>

地域政策課	<p>具体的に動き出してるものは、推薦団体に関して見直しを行い、例えばママさんのサークルとか、市民団体のようなカテゴリーを設けたり、PTAの団体から推薦いただいていた地域会議についてはPTA団体を入れたりというような取り組みを実施している。ただ、子育て中なので夜の会議は出れないという意見を多数いただいております、それに合わせてオンラインでの参加をできるところからスタートしていく。施設によって環境が整ってないところもあり、一斉にできないのが大変申し訳ないが、具体的にはそういう取り組みも始めたところ。</p>
実働	<p>地域づくり応援補助金制度の見直しだが、地域会議と共同提案できるということで、地域会議の予算は事業に対してお金が使える。ところが実働組織は、その年度について補助金をもらっている。地域会議と一緒に先の事を実働組織で考えたとき簡単に共同提案ということはできないかと思うが。</p>
地域政策課	<p>地域会議が提案する地域予算に関しては、書類を提出した次の年に予算化されて事業化される。翌年度を行う事業を提案していくことになる。7年度と一緒に考えて、8年度に行う事業を提出するという形に、スケジュール的にはなってしまう。</p>
実働	<p>今のところ、実働組織は7年度は7年度しか考えない。でも、そういう可能性が出てきたということですね。</p>
地域政策課	<p>今まで単年度で行ってきた事業は継続しつつ、もう少し違う事業とか、発展させた事業とかをやる場合にこれを使うと財源が確保できる。アンケートの中でも実働組織の方々から財源が欲しいというご意見があった。補助金の制度の見直しまでは今回行かなかったの、そういう形で少しでも財源の涵養になればというような見直し策を検討させていただいた次第。</p>
D委員	<p>実働と地域会議で共同提案した時に、金額的にかなりのお金がかかる時地域はどういうふうにすればいいのか。予算的には今まで通り地域会議の予算でという話なのか。</p>
地域政策課	<p>全体の予算額というのは毎年度財政部局と実績を見ながら予算要求をしていくという形になる。例えば3つの実働組織から共同提案が上がって、岩舟地域会議として全部出したいとなった場合、今までの上限だと足らなくなるところを、我々は財政課の方に伝えて要求はできると思う。そういう要望とか実績に基づいて予算要求はしていくので、岩舟地域から、たくさん提案が出てきて今までの予算額だと厳しいということを訴えていき、認めてもらえるかどうかというのは財政部局との交渉になってくると思う。そういう実績を岩舟地域から作っていくのは予算を増やしていく1つの足がかりかなと考えている。是非、いろいろ議論を交わして、提案を考えていただければいいと思う。</p>
B委員	<p>地域会議の予算と実働組織の予算がある。一緒にやる場合、地域会議の予算の中でやるということか。</p>
地域政策課	<p>地域予算は今まで通り。ただし、提案するときに、今までは岩舟地域会議単体で</p>

	<p>提案したが、他の地域、例えば大平地域会議と岩舟地域会議が共同で提案をしたり、岩舟地域会議と3実働組織それぞれの実働組織と共同で提案したりということができるようになる。実働組織には、栃木市地域作り事業支援補助金というのがあり、これは実働組織が活動している事業に対して2分の1を市が補助するというもの。これとは切り分けて、新たに財源が確保できるものなので合算ではない。この補助金の中には地域予算は加えないということでルール化する。今までの補助金は今までの活動をやっけていき、プラス新しい事業を地域会議と議論していき、提案していく。必ずしも共同で提案しなければならないではなく、今まで通り岩舟地域会議単体で出すのも大丈夫。この複合でいろいろ考えていただければ。</p>
<p>会長</p>	<p>9ページで対象とならない事業が載っている。ソフト事業を伴わないという言葉が新たに入った。今までの他の地域の計画も見ても、全部は出来ないと思う。その点に関して、地域でソフト事業の名目を上げ実施するとできるという理解になっていかないか。他の地域の提案を見ていると、現実的じゃない。市の事業を待ってられないから、地域予算でという地域がすごく多いと思う。その現実をどう考えているのか。</p>
<p>地域政策課</p>	<p>必ずしもソフト事業はイベントではない。例えば岩舟地域に関しては、今年度まもなくJ3がスタートする。おそらく人がたくさん来るので、岩舟地域の人の流れはその時期は変わると思う。そういう方が施設を利用するとか、アウェイサポーターのウェルカムイベントをいろんな施設で行い施設を知ってもらうのもソフト事業だと思う。その辺は事務局もアイデアを持っていると思うので、ぜひ相談いただき、場合によっては我々地域政策課も一緒に考えたいと思うので、事務局通じていろいろ相談いただければありがたいと思う。</p>
<p>A委員</p>	<p>この予算が上げられてる。これは栃木市が事業を行うべきものかと思う。ただ僅かなお金を地域会議や実働組織に分けて、ただ割り当てられた金額を、どのように使ったら有効に使えるか、それだけ。だけど、事業としてはもっと高額なものもやりたい、やらなくちゃならないっていうものもある。そういったものも意見交換をして、事業に取り組むようなシステムを考えなくてはならないのかなと思う。予算を有効に使うには、やはり市の担当と直に相談をするとか、そういったシステムを考えなくてはいけないのか。</p>
<p>地域政策課</p>	<p>今までは地域会議で議論して、ある程度計画書になった段階で事務局が担当課にこういう提案を出しますと持っていったが、非常に事業所管課から、それに対する苦情も多く出ていた。今回はある程度、検討する地域課題が出た段階で担当課とのヒアリングのができるような整備強化をした。代表の方と担当課で意見を交わす機会を設けるので、そこで担当課の意見を聞いて、地域のことをお伝えいただき、地域予算提案制度を検討するよう変えたので、やってみて、それで改善が必要ならば、見直しを図っていくのでよろしくお願ひしたい。</p>

<p>事務局</p>	<p>実働組織退出 (3) その他 〈事務局から説明〉 昨年9月に市長に提案した来年の地域予算事業について、先月12月市の財政担当部局の予算査定が終了した。正式な決定は3月議会の議決を経てからとなるが提案した全5事業、計画した内容通りに予算がつく見込みであることを報告する。そしてこれに関連して、岩舟総合運動公園遊具設置事業を提案しているところだが、この事業について1点、市長から提案があったので今回協議をお願いしたい。これまでの話し合いの中から複合遊具やブランコが既に設置してある遊楽々館の北側に幼児用のスイング遊具を2,3台設置するという計画に現在なっているが、その設置場所の候補に遊楽々館の南側のユニバーサルスポーツ広場を加えてもらうことができるかという提案。ただし、市長としても最終的には地域会議の意見を当然尊重すると申しておるので、当初の予定通り北側の部分に設置でも問題がないことを補足させていただく。</p>
<p>会長</p>	<p>委員に意見を求める。ここに遊具を設置するかというと、現在、6歳から12歳の遊具が設置してあり、小さい子の遊具を設置したらどうかという話が一番最初。遊楽々館の前に今回の遊具を設置したらどうかという市長からの提案があるというがいかがか。</p>
<p>C委員</p>	<p>1番に遊具ある。2番の1,2はかなり広い場所で、子供たちはサッカーをやったりして遊んでいると思う。そこに遊具を設置すると、その分狭くなるがどうなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ここでイベントをやることもあるので、当初の予定どおり北側に設置しても問題は無い。南側のどこの部分に付けたらいかは市長は言っていなかった。</p>
<p>C委員</p>	<p>去年、ヨシアカリの時に全体使っていた。ああいうのも使えなくなる。市長もご覧になっていた。</p>
<p>D委員</p>	<p>今回提案するのは、小さい物の設置。この滑り台等は奥にある。ここに付属して小さいものを付けようと提案して通った。その小さいのは、ユニバーサル広場で子供と大人と一緒に居られてあまり場所を取らない遊具。</p>
<p>事務局</p>	<p>スイング遊具、小さいお子さん座ってゆらゆら揺れる遊具。それが2,3台なのでスペース的にはそれほどではない。</p>
<p>D委員</p>	<p>藤棚の下とかに小さいのが2つくらいあれば親子でゆっくりできるんじゃないか。</p>
<p>E委員</p>	<p>スペース的にはどこでも本当に置けると思う。ただ一番最初が大きい子と小さい子が一緒に来た時、ここにあるのは6歳~12歳に遊具だけ。一緒に連れてきた小さい子が遊べませんというので、そこに付けたらどうかというのが一番最初。どこにでも付けられるので前につけたらどうかっていう気持ちもわかる。何もないので。ただ、最初のきっかけのところを大事にしたいと私は思うので、元からの提案で進めたらどうかと思う。</p>

<p>会長</p>	<p>どこに設置するのかを決めていただきたいと思います。提案どおり①-1の複合遊具とブランコがあるところに設置する方がいいか、それとも市長が言うようにユニバーサルスポーツ広場に設置した方がいいか、二つの意見になる。それで決を採ってもよろしいか。まず複合遊具とブランコが有る方に、今までの計画通り設置した方がいいと思われる方は挙手をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>10人</p>
<p>会長</p>	<p>このまま計画通りに設置するというで決定する。 ユニバーサルスポーツ広場に関しては、来年以降の計画の中で先ほどアウェイの方がたくさん来るので、うまく提案できるといいかなと思う。事務局の方からは何かあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>特になし。</p>
<p>会長</p>	<p>本日の議事を終了。</p>
	<p>4. 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回会議 3月26日(水) 19時から ・1号委員の推薦 各団体から推薦いただく1号委員の報告期限は今月末までとなっている。 未提出の団体は提出を。 ・栃木市社会福祉協議会主催事業のお知らせ 地域におけるお宝発表会 2月22日(土) 13時から 栃木文化会館 内容の一部に小野寺小学校児童による地域のお宝発表等が予定。 ・2月8日(土) 地域自治交流会 <p>5. 閉会 (20:41)</p>

別紙 1

出席者（委員）

会長	高久 厚子	委員	青木 則夫
委員	阿部 亜紗子	委員	越沼 和子
委員	瀬下 紀明	委員	寺澤 保之
委員	栃木 光子	委員	中田 武彦
委員	永島 仁一	委員	広瀬 昌子
委員	深津 智子	委員	三柴 茂
委員	渡辺 和枝		

欠席者（委員）

副会長	横塚 勇氣	委員	斉藤 栄吉
-----	-------	----	-------

事務局

黒川 幸咲（岩舟地域づくり推進課課長）
海老沼 剛志（岩舟地域づくり推進課係長）
落合 裕美子（岩舟地域づくり推進課副主幹）

別紙2 会議事項

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

- (1) 連絡事項 (情報提供) 【文化課】 栃木市文化財保存活用地域計画について
- (2) 連絡事項 (情報提供) 【地域政策課】 地域自治制度の新制度移行について
- (3) その他

4. 連絡事項

- ・次回会議 令和7年3月26日(水) 午後7時から
- ・委員の改選に伴う各団体への推薦依頼について (1/31までに報告)

5. 閉会

配布資料一覧

資料番号無	栃木市文化財保存活用地域計画について
資料番号無	栃木市地域自治制度の新制度移行に係る見直しの概要 栃木市地域自治制度見直しに関する意向調査報告書 栃木市地域自治制度の新制度移行に係る検討項目一覧
資料 1	岩舟総合運動公園幼児用遊具設置事業について
資料番号無	社会福祉協議会主催事業チラシ「キラッと輝く栃木市のお宝発表会」